

# 衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成23年1月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成23年2月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成23年1月のアクセス件数、アクセス順位及び平成23年2月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

## 1 利用状況

### (1) アクセス件数 (平成23年1月)

平成23年1月の総アクセス数は、217,911件でした。主な内訳は、感染症67.5%、食品衛生10.8%、保健情報8.6%、検査情報月報4.7%、生活環境衛生1.2%、薬事1.0%でした。

### (2) アクセス順位 (平成23年1月)

1月のアクセス順位(表1)は、第1位が「肺炎球菌感染症について」、第2位が「マイコプラズマ肺炎について」、第3位が「衛生研究所トップページ」でした。

第1位は「肺炎球菌感染症について」でした。

肺炎球菌感染症は、ワクチン(予防接種)によって予防できる病気(Vaccine-Preventable Diseases: VPD)の一つとされています。

日本では、従来、免疫力が低下した高齢者等には、23価の肺炎球菌ワクチンが任意接種として使用されてきました

が、平成21年10月に小児用の肺炎球菌ワクチン(7価)が承認され、平成22年2月から、任意予防接種として乳幼児に使用されるようになりました。

横浜市では、平成22年10月から「重度の内部機能障害のある方が23価肺炎球菌ワクチン接種」を受ける際に費用の一部を助成しています。また、平成23年2月1日から平成24年3月31日まで「小児用肺炎球菌ワクチン」、「ヒブ(Hib)ワクチン」、「子宮頸がんワクチン」を無料(公費負担)で接種できるようになりました。

第10位には「ヘモフィルス-インフルエンザb型菌(Hib)感染症について」が入っており、肺炎球菌感染症だけでなく、Hib感染症についても関心が高かったものと考えられます。

肺炎球菌とヘモフィルス-インフルエンザb型菌(Hib)は、小児の細菌性髄膜炎の主要な原因といわれています。細菌性髄膜炎は、初期の診断が難しく、かかると治療が困難な疾患です。ほとんどが、5歳未満の幼児に発症し、なかでも0歳児に多く発症がみられています。また、細菌性髄膜炎の治療には、抗菌薬を使いますが、最近では、抗菌薬の効きにくい肺炎球菌やHibが増加しています。これらのことから、早い時期にワクチン接種を受けることが発症予防の効果につながると考えられます。

一方で、一部市町村でワクチン接種後の死亡例が発生したことから、厚生労働省は、平成23年3月4日に「小児用肺炎球菌ワクチン」及び「ヒブワクチン」接種の一時的見合わせについて決定しました。

表1 平成23年1月 アクセス順位

| 順位 | タイトル                                 | 件数     |
|----|--------------------------------------|--------|
| 1  | 肺炎球菌感染症について                          | 13,532 |
| 2  | マイコプラズマ肺炎について                        | 13,450 |
| 3  | 衛生研究所トップページ                          | 4,929  |
| 4  | 感染症発生状況                              | 3,692  |
| 5  | 臨時情報                                 | 3,516  |
| 6  | RSウイルスによる気道感染症およびパピロウイルスマブ(シナジス)について | 2,617  |
| 7  | アシネトバクター感染症について                      | 2,508  |
| 8  | サイトメガロウイルス感染症について                    | 2,488  |
| 9  | ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について                 | 2,449  |
| 10 | ヘモフィルス-インフルエンザb型菌(Hib)感染症について        | 2,421  |

データ提供:総務局IT活用推進課

厚生労働省の決定を受け、横浜市としても該当ワクチン接種を当面の間見合わせることにしています(平成23年3月8日現在)。

第2位は「マイコプラズマ肺炎について」でした。

国立感染症情報センターの報告によると、マイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告数は、3週(1/3~23)連続して、増加し、過去5年間の同時期と比較して、かなり多い状況でした。12月上旬から流行が見られ、アクセス数が多かったものと思われます。

第3~5位は「衛生研究所トップページ」、「感染症発生状況」、「臨時情報」でした。

これらは、「インフルエンザ」や「感染性胃腸炎」等の市内発生状況をタイムリーに掲載しているページです。流行期に入り、関心が高く、アクセス数が増加したものと思われます。

### (3) 電子メールによる問い合わせ (平成23年2月)

平成23年2月の問い合わせは、2件でした(表2)。

表2 平成23年2月 電子メールによる問い合わせ

| 内容             | 件数 | 回答部署      |
|----------------|----|-----------|
| サイトメガロウイルスについて | 1  | 感染症・疫学情報課 |
| ポリオ後症候群について    | 1  | 感染症・疫学情報課 |

### 2 追加・更新記事 (平成23年2月)

平成23年2月に追加・更新した主な記事は、17件でした(表3)。

表3 平成23年2月 追加・更新記事

| 掲載月日  | 内容                              | 備考    |
|-------|---------------------------------|-------|
| 2月 1日 | 感染症法が一部改正され【届出基準・届出様式】の変更       | 更新・追加 |
| 2月 1日 | 人間への感染が見られたA型インフルエンザウイルスの亜型について | 更新    |
| 2月 2日 | 肺炎球菌感染症について                     | 更新    |
| 2月 3日 | 衛研 Q&A - 破傷風(はしょうふう)編 -         | 追加    |
| 2月 3日 | 感染症に気をつけよう (2月号)                | 追加    |
| 2月 4日 | 細菌性髄膜炎を知っていますか?                 | 追加    |
| 2月 4日 | 〔こどものワクチン〕肺炎球菌ワクチンを知っていますか?     | 追加    |
| 2月 4日 | 〔こどものワクチン〕ヒブ(Hib)ワクチンを知っていますか?  | 追加    |
| 2月 9日 | 横浜市感染症発生動向調査事業概要の掲載             | 追加    |
| 2月16日 | エンテロウイルスについて                    | 更新    |
| 2月16日 | 高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)について          | 更新    |
| 2月16日 | チクングニヤ熱について                     | 追加    |
| 2月24日 | 高病原性鳥インフルエンザの発生状況               | 更新    |
| 2月25日 | 保健統計資料の活用                       | 更新    |
| 2月25日 | 保健統計データ集                        | 更新    |
| 2月25日 | 新型インフルエンザ(AH1pdm)について           | 更新    |
| 2月25日 | 横浜市インフルエンザ等流行情報 8号              | 追加    |

【 感染症・疫学情報課 】